

令和 5・6 年度複合構造委員会 第 10 回幹事会 議事録(案)

日 時：2024(令和 6)年 10 月 28 日(月) 14:00～17:00

場 所：土木学会 A 会議室+ Web 併用 (Zoom)

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

配布資料：

- 幹10-0 令和5・6年度複合構造委員会第10回幹事会議事次第
- 幹10-1 令和5・6年度複合構造委員会第9回幹事会議事録（案）
- 幹10-2 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹10-3 令和6年度委員会予算執行状況
- 幹10-4 2025年度事業計画について
- 幹10-5 2025年度重点研究課題
- 幹10-6 令和7年度土木学会全国大会 共通セッション、特別セッションの募集と部門別セッション名の確認について
- 幹10-7 令和6年度全国大会・共通セッション
- 幹10-8 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹10-9 ~~土木学会論文集特集号（複合構造）~~
- 幹10-10 複合構造の継続教育
- 幹10-11 300年暴露PJ報告
- 幹10-12 出版関連報告
- 幹10-13 ~~ホームページ関連報告~~
- 幹10-14 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹10-15 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹10-16 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹10-17 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹10-18 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹10-19 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹10-20 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹10-21 令和5・6年度 第4回委員会議事次第(案)
- 幹10-22-1 土木学会令和6年度田中賞へのご応募のお願い
- 幹10-22-2 意見照会：日本コンクリート工学会 ISO/TC71委員会原案
- 幹10-22-3 土木学会創立110周年記念式典、祝賀パーティーのご案内
- 幹10-22-4 土木学会国際貢献賞及び国際活動奨励賞候補者の推薦について
- 幹10-22-5 「海外事業への若手世代の意欲向上策検討のための海外事業ご経験者へのアンケート」および「学生の皆様への海外事業に係るアンケート」について

幹10-23 「カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する実施すべき事項（案）」

幹10-24 第11回幹事会，第12回幹事会について

議事内容：

1. 委員長挨拶

牧委員長より開会の挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第9回幹事会議事録(案) (幹10-1)

大久保幹事より説明があった。以下を修正する。

- ・ 6章：「藤林幹事」を「川端幹事，藤林幹事」に修正する。
- ・ 16章(1)：「9月9日に小委員会委員長，幹事長と牧委員長で読み合わせを行う。」→「9月9日に小委員会委員長，幹事長と幹事数名で読み合わせを行う。」
- ・ 9章：特別公演→特別講演

3. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担 (幹10-2)

皆田幹事長より資料について説明があった。

- ・ 内藤先生，中村先生について，構造工学委員会を追加した。
- ・ その他修正追記が必要であれば皆田幹事長に連絡することになった。

4. 令和6年度委員会予算執行状況 (幹10-3)

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 第9回以降に支出はなかったため，前回資料と同様である。

5. 2025年度事業計画について (幹10-4)

皆田幹事長より報告があった。

- ・ 資料はメールにて配信した上で，提出済みである。

6. 2025年度重点研究課題 (幹10-4)

川端幹事より説明があった。

- ・ 構造工学のCN関連研究小委員会から提出される重点研究課題について4構造系研究委員会の連名とすることで合意された。
- ・ 2025年度重点研究課題について，複合構造委員会単独では申請しないこととなった。ただし，来年度の申請のためのテーマは適切に引き継いでおくこととなった。

7. 「カーボンニュートラルに向けた土木構造物のあり方に関する実施すべき事項(案)」の意見集約について (幹10-23)

川端幹事より説明があった。

- ・ 公表形式として，土木学会でプレスリリースすることも検討することを構造工学CN研究小委員会

の担当者に伝えることとなった。

- ・ 文書案について、親委員会名義で発出することが合意された。また、皆田幹事長からメール審議を開始することとなった。

8. 令和7年度土木学会全国大会 共通セッション、特別セッションの募集と部門別セッション名の確認について（幹10-6）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 例年と同様、複合構造物で申し込む予定で進めている。

9. 令和6年度全国大会・共通セッションの報告（幹10-7）

川端幹事より報告があった。

- ・ 例年よりも講演者数、聴講者数ともに多かった。

10. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（幹10-8）

大山副委員長より説明があった。

- ・ 現状でオンライン参加18名、会場参加15名である。10/21に仁平幹事よりリマインダを送信済みである。
- ・ 基調講演が木曜から金曜に変更となり、プログラムの公開が遅くなった。10/29にリハーサル予定である。
- ・ 論文DLサイトのプログラムが古いものになっているため修正することとなった。
- ・ DLサイトの修正が完了後、皆田幹事長からプログラムのURL付きでメール配信することとなった。

11. 土木学会論文集特集号（複合構造）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 9/30に編集小委員会を開催し、招待論文（三井住友建設 永元様）と小委員会報告（H110）の企画を承認するとともに、論文集編集上の留意点が確認された。
- ・ 例年通りシンポジウム終了後から4週間（11/8-12/6）、論文を受付予定であり、その後、3月末までに著者から最終原稿を受領するように編集を行う予定である。

12. 複合構造の継続教育（幹10-10）

中村幹事より説明があった。

- ・ セミナーWGについて、各内容のブラッシュアップを行った。リハーサルを11/25実施予定である。
- ・ 現状では会場参加5名、オンライン参加41名であるため、幅広くお声がけいただきたい。
- ・ e-ラーニングWGについて特に進捗はなく、引き続き進める予定である。
- ・ セミナーの解析事例について、示方書の事例集で掲載されなかったものを使うことができないか、必要であればH101委員会-斎藤委員長に確認する。示方書について、一つの構造物に対して調査・設計、その後の補修などを行う事例集を掲載予定であるが、それほど事例はない。

13. 300年暴露PJ報告（幹10-11）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 小委員会を12月12日開催で予定している。
- ・ 観察記録などの保管方法などの議論が今後必要である。
- ・ 12/12はずれ止め試験体、ゴム試験体がメインの議論となる。FRPは来年春頃に暴露開始予定で進める。

14. 出版関係報告（幹10-12）

平幹事より説明があった。

- ・ 来年度の出版企画として、3つの小委員会からのレポートが予定されている。ヒアリングは不要で承認された。また、希望単価も事務局算出の単価とほぼ同等であった。最終価格は、改めて事務局から担当委員会に提示され、決定となる。
- ・ 増刷分の原価回収部数について土木学会事務局に確認したところ、既に原価回収部数を上回っていることを確認した。

15. ホームページ関連報告

山本幹事より説明があった。

- ・ 議事録を更新した。

16. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹10-14）

牧委員長より報告があった。

- ・ 幹事団で読合せを行った。親委員会に意見照会（×切11/15）を行っているところである。
- ・ 土木学会内の他委員会および他学協会等への外部意見照会を行う準備を進めている。
- ・ 意見に基づいて修正を加えた上で、1月の親委員会で原案を提示し、出版の可否を審議いただく。
- ・ 親委員会への意見照会対応が完了した段階で幹事団および示方書委員会に参加している委員にてエディトリアルチェックをお願いしたい。分担案は後日連絡する。PDFで配信され、PDFに直接朱書きまたはコメント等で付記する予定である。

(2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹10-15）

牧委員長より報告があった。

- ・ 報告会のスケジュール等を議論した。また、アンケートを作成して、次回確定する予定である。
- ・ NEXCO 総研の安藤氏を委員に追加する旨が幹事会にて承認された。10/29に親委員会のメール審議を開始する。

(3) H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹10-16）

中村幹事より報告があった。

- ・ 11/12に土木研究センターにて第1回委員会を開催する予定である。

- ・ NEXCO 総研-安藤氏，豊橋技術科学大-松本先生，宮地エンジニアリング-久保氏，東京科学大-竹谷先生，福井ファイバータック-中島氏を委員に追加する旨が幹事会にて承認された。10/29に親委員会のメール審議を開始する。

(4) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹10-17）

川端幹事より報告があった。

- ・ 出版企画書を400部で提出した。

(5) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹10-18）

皆田幹事長より報告があった。

- ・ 9/19に委員会を開催し，報告書発刊について，来年12月を目標にして進めている。

(6) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹10-19）

大久保幹事より報告があった。

- ・ 9月19に小委員会を開催した。11/25に第5回委員会を開催予定である。
- ・ 第2期を見据えた活動としており，第1期目に出版等を行うことは想定していない。

(7) H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹10-20）

皆田幹事長より報告があった。

- ・ 委員募集を10/31まで継続している。現在15名程度であるが，最終的に20名程度を想定している。
- ・ 11-12月に委員会を開催する予定としている。
- ・ 連絡幹事は山本幹事とする。

17. 令和5・6年度 第4回委員会議事次第(案)（幹10-21）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 小委員会報告について，H101の意見照会結果の説明，H109のアンケートに関する趣旨の説明，を予定している。必要時間等については別途調整する。

18. その他

- ・ 土木学会令和6年度田中賞へのご応募のお願い（幹10-22-1）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に配信した。応募は1/20ㄨ切である。

- ・ 土木学会創立110周年記念式典、祝賀パーティーのご案内（幹10-22-3）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に配信した。

- ・ 意見照会：日本コンクリート工学会 ISO/TC71委員会原案（幹10-22-2）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に配信した。

・ 土木学会国際貢献賞及び国際活動奨励賞候補者の推薦について（幹10-22-4）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 親委員会に配信した。応募は1/20〆切である。

・ 「海外事業への若手世代の意欲向上策検討のための海外事業ご経験者へのアンケート」 および「学生の皆様への海外事業に係るアンケート」について（幹10-22-5）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ アンケートを親委員会に配信したので、海外経験のある方は回答いただきたい。〆切は12/31である。

・ 構造系三委員会の意見交換会

牧委員長より説明があった。

- ・ 構造工学委員会からメールがあり、構造工学委員会・鋼構造委員会・複合構造委員会で、委員会活動の効率化や委員会連携のための10月上旬に意見交換会が開催された。
- ・ 複合構造委員会から牧委員長・大山副委員長・皆田幹事長が参加し、牧委員長から複合構造委員会の活動状況を説明した。
- ・ 定期的に意見交換をすることとなった。次回は2025年1月頃を想定している。
- ・ 各親委員会で開催されるイベントに関して、それぞれの委員会でアナウンスすることとなった。
- ・ 現状として、委員・幹事ともに50-54歳が多く、若手が少ない状況にある。

・ 第11回幹事会、第12回幹事会について（幹10-24）

皆田幹事長より説明があった。

- ・ 第11回幹事会は12/12に開催予定であり、同日11時から八幡工学実験場で300年暴露PJ小委員会を開催予定である。翌日の現場見学会（12/13）は8名が参加予定である。
- ・ 第12回幹事会は3/14-15に開催予定であり、場所は今後調整する。

19. 閉会挨拶

大山副委員長より閉会の挨拶がなされた。

以 上
(記録：川端)